

試験報告書

依頼者 アンデス電気株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 空気清浄機 BM-S301A

表題 浮遊ウイルスに対する除去性能評価試験

2017 年(平成 29 年)04 月 13 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

浮遊ウイルスに対する除去性能評価試験

1 依頼者

アンデス電気株式会社

2 検 体

空気清浄機 BM-S301A

3 試験概要

一般社団法人 日本電機工業会 JEM 1467 家庭用空気清浄機(2015年3月25日改正)
 附属書D(規定) 「浮遊ウイルスに対する除去性能評価試験」を参考にして試験を行った。

1) 試験実施年月日

2017年04月20日

2) 試験実施場所

大阪府吹田市豊津町3番1号

一般財団法人日本食品分析センター 大阪支所

4 試験結果

結果を表-1及び図-1に示した。

なお、参考情報として試験中の浮遊粒子数の測定結果及び温湿度を図-2及び3並びに表-2に示した。また、試験条件を表-3に示した。

表-1 ゼラチンフィルタのファージ感染価測定結果

試験 ファージ	対 象	ファージ感染価 (PFU/枚)				
		開始時	16分後	23分後	30分後	37分後
φ X174	自然減衰*	2.3×10^5	1.8×10^5	1.2×10^5	9.8×10^4	1.1×10^5
	検体作動	4.8×10^5	1.8×10^4	20	<10	<10

* 検体未作動

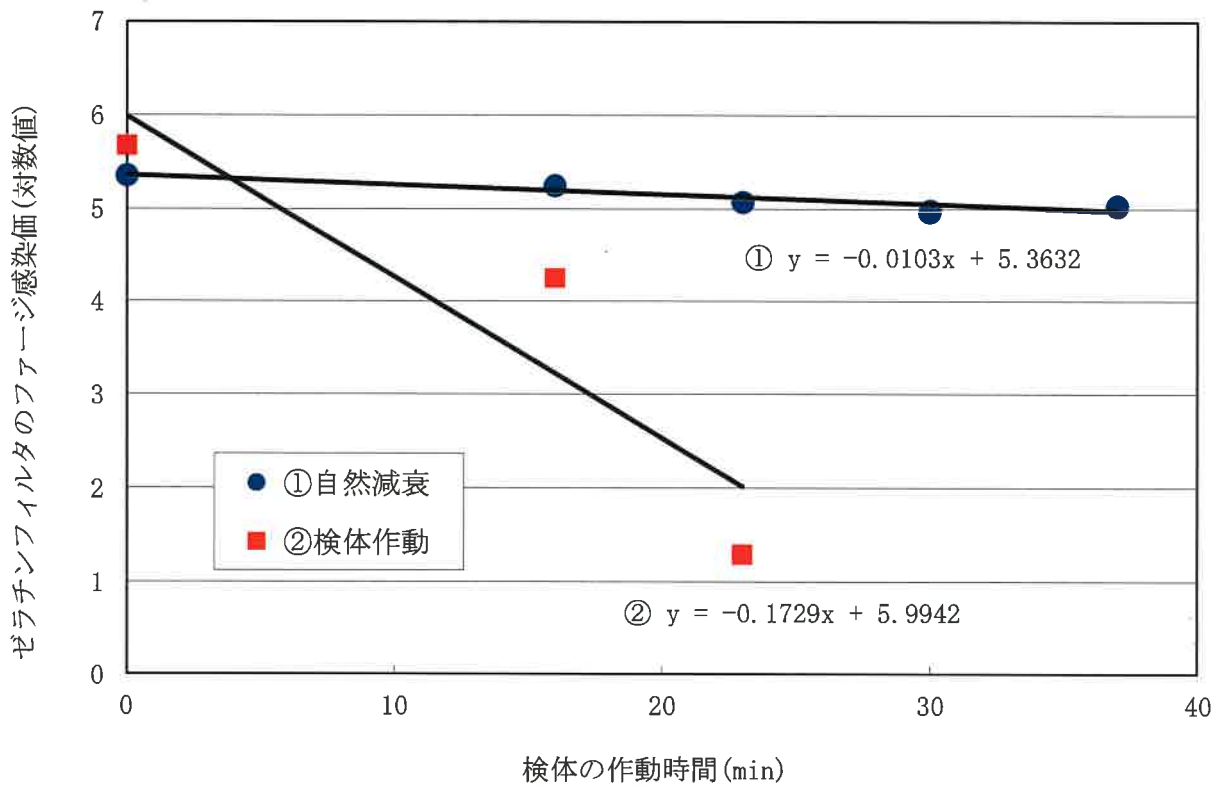
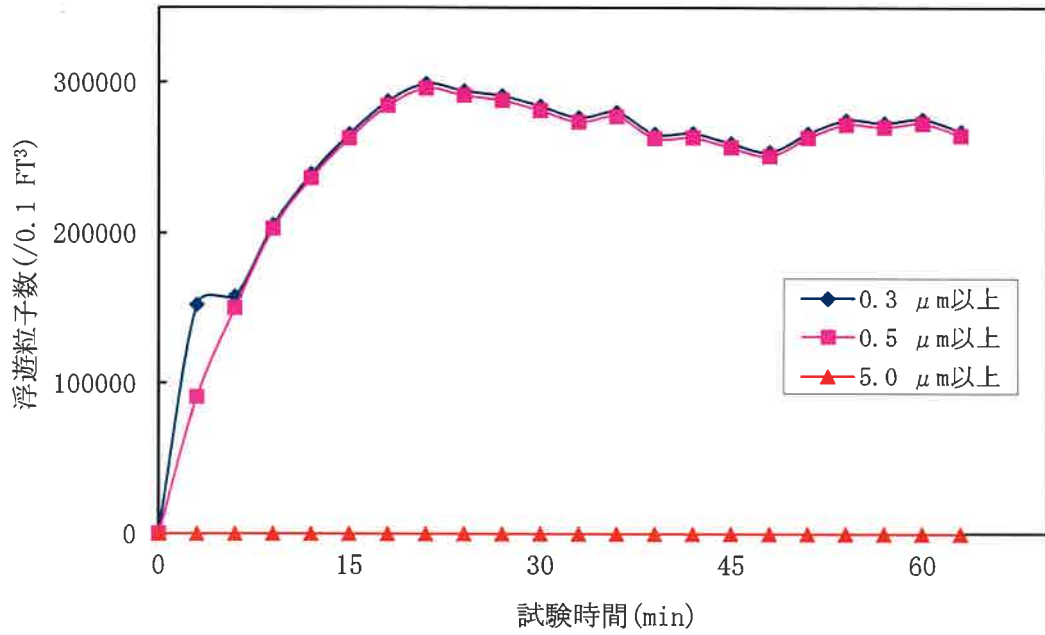
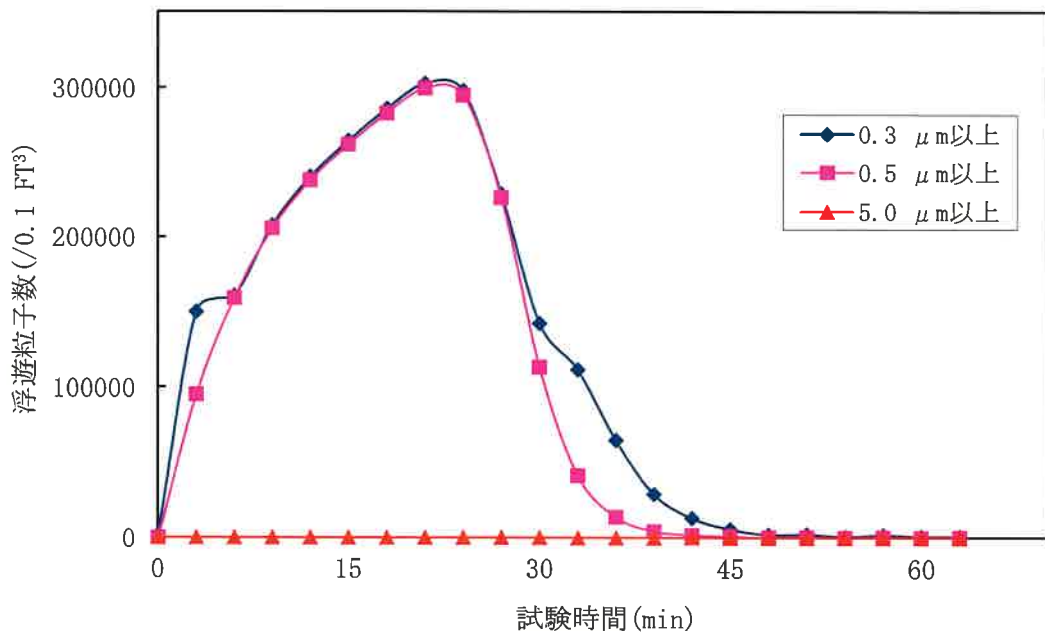


図-1 近似式から描いたグラフ



測定機器：ハンドヘルドレーザーパーティクルカウンター[日本カノマックス株式会社]

図-2 浮遊粒子数の測定結果(自然減衰)



測定機器：ハンドヘルドレーザーパーティクルカウンター[日本カノマックス株式会社]

図-3 浮遊粒子数の測定結果(検体作動)

表-2 試験開始時及び終了時の温湿度

対象	温度(°C)		湿度(%RH)	
	開始時	終了時	開始時	終了時
自然減衰*	27	27	40	40
検体作動	27	27	40	40

測定機器：おんどとりTR-72Ui[株式会社ティアンドデイ]

* 検体未作動

表-3 試験条件

試験チャンバー容積	約25 m ³ [3266 mm(D)×3290 mm(W)×2328 mm(H)]
試験ファージ	<i>Escherichia coli phage</i> φX174 NBRC 103405
宿主菌	<i>Escherichia coli</i> NBRC 13898
ファージ液の感染価	5.3×10 ⁸ PFU/mL
ファージ液の噴霧量	8 mL(0.4 mL/min×20分間)
検体作動時間	開始時並びに16, 23, 30及び37分
ゼラチンフィルタによる空気捕集量	80 L(2.4 m ³ /h×2分間)
ゼラチンフィルタの洗い出し液	りん酸緩衝生理食塩水, 10 mL
ファージ感染価測定方法	プラーク法

以 上